



とうきょうと きたく かんせんしょうしゅうほう
東京都北区感染症週報

2023年第21週 (令和5年5月22日～令和5年5月28日)

東京都北区保健所 電話 03 (3919) 3102

【全数報告対象疾患】

※新型コロナウイルス(COVID-19)については、令和5年5月8日より定点把握対象疾患へと移行しています。

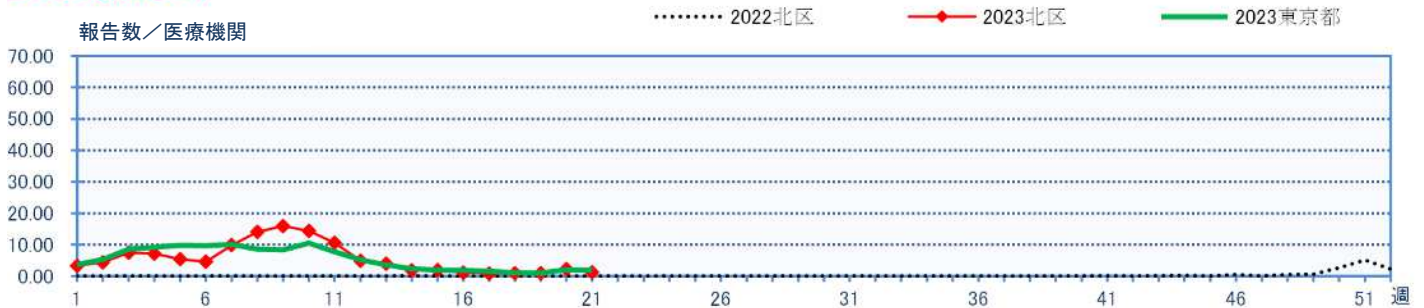
【定点把握対象疾患】

- 新型コロナウイルス(COVID-19) 北区内は70件、東京都全体の発生件数は1647件でした。
- 新型コロナウイルス(COVID-19)は都内の定点当たり報告数が3.96と増加しています。
- インフルエンザ 北区内は13件、東京都全体の発生件数は785件でした。
- インフルエンザは都内の定点当たり報告数が1.89と減少しています。

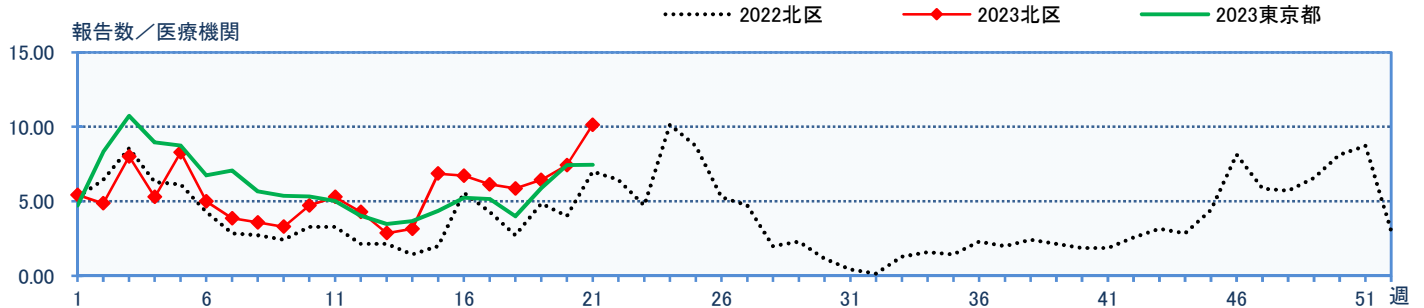
■新型コロナウイルス(COVID-19)



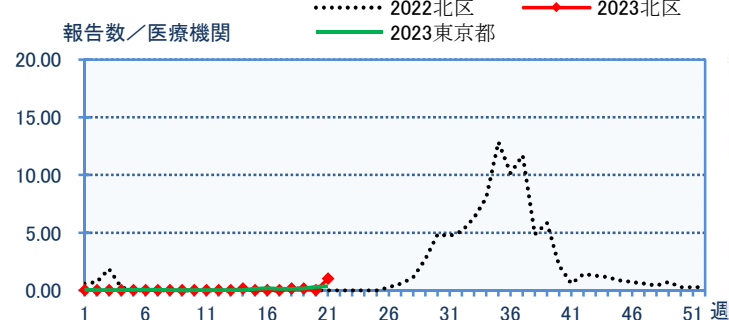
■インフルエンザ



■感染性胃腸炎



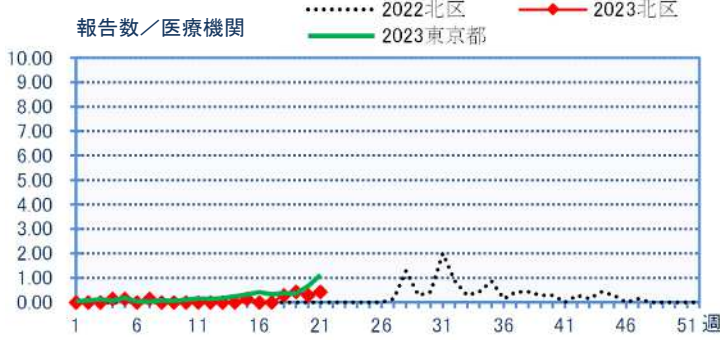
■手足口病



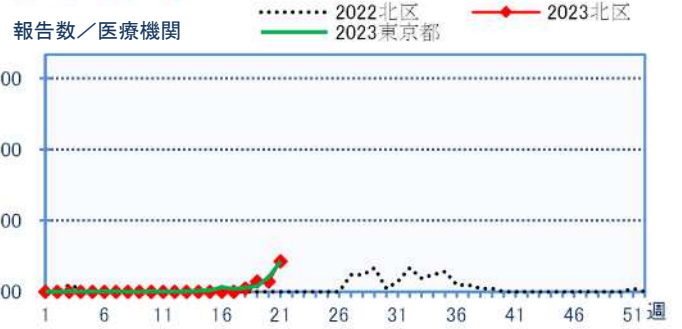
■A群溶血性レンサ球菌



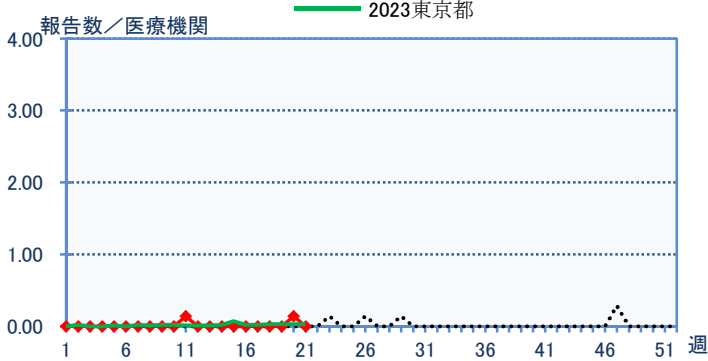
■RSウイルス感染症



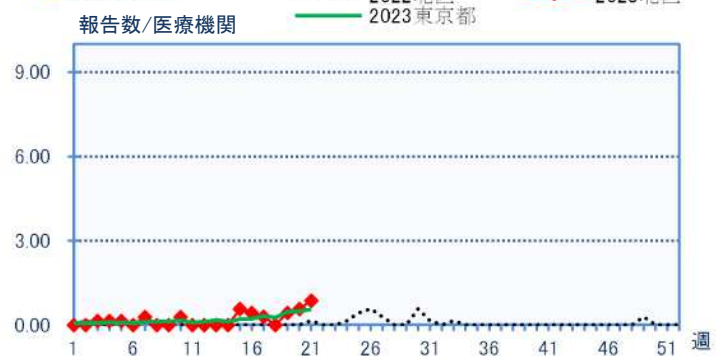
■ヘルパンギーナ



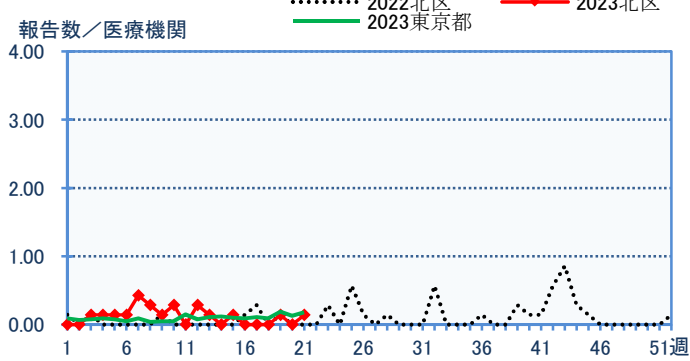
■伝染性紅斑



■咽頭結膜熱



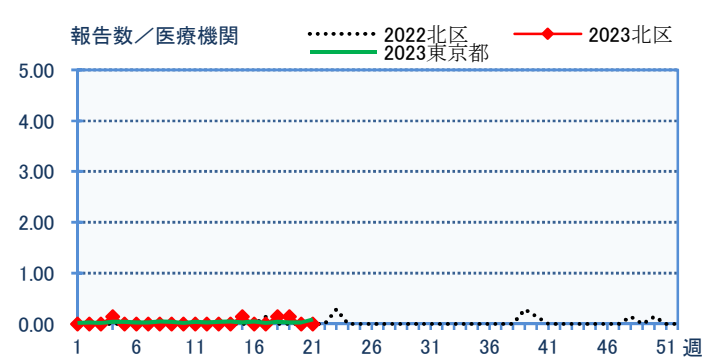
■水痘



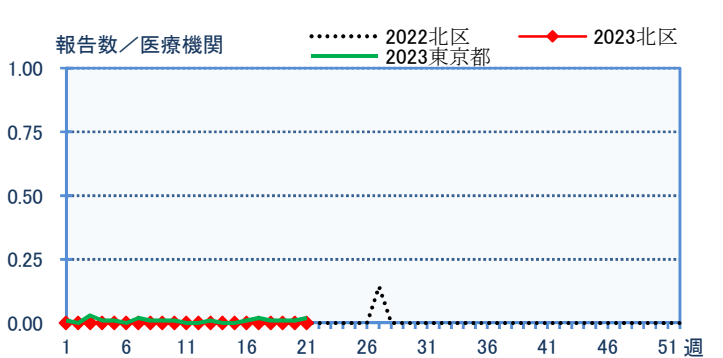
■突発性発しん



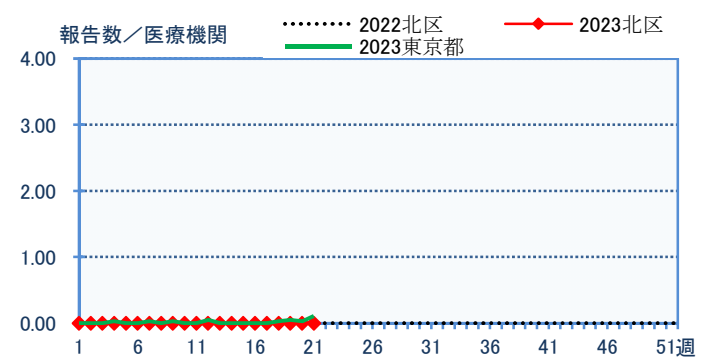
■流行性耳下腺炎



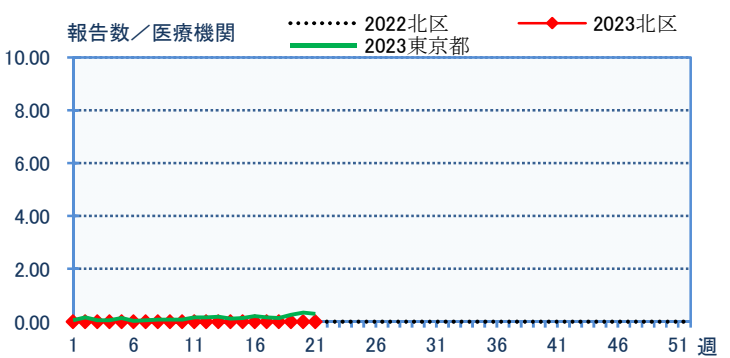
■川崎病



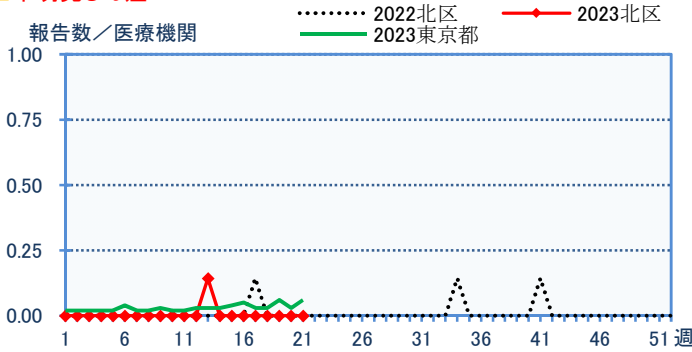
■急性出血性結膜炎



■流行性角結膜炎



■不明発しん症



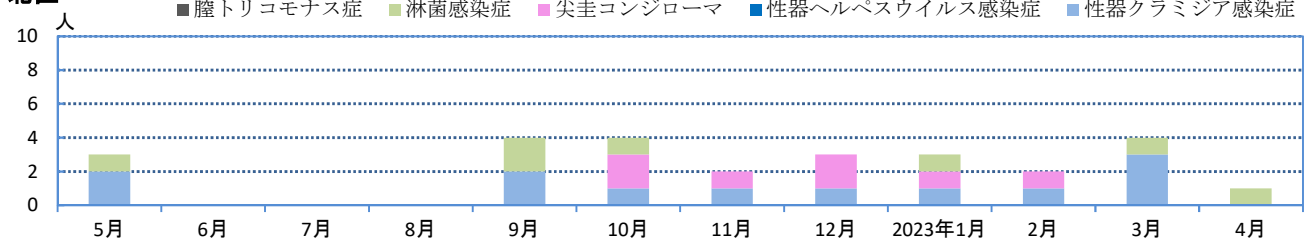
■性感染症

定点報告感染症のうち、月報告の感染症である性感染症については、該当月の結果は翌月始めに報告されるため、前月までの結果を掲載しています。

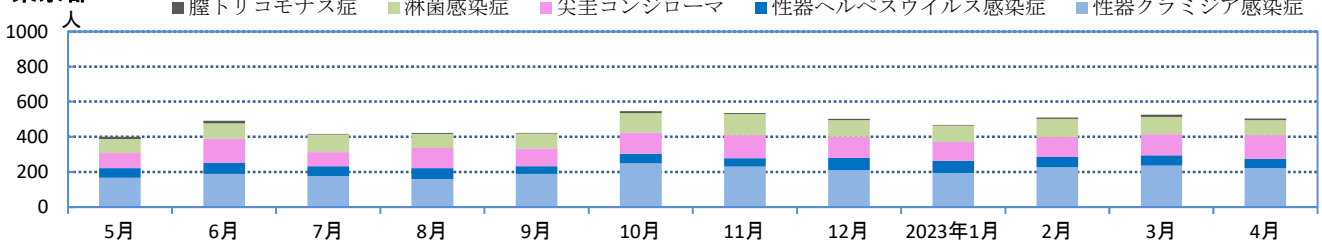
梅毒は、全数報告の感染症のため、本調査の対象になっていません。

※2023年5月分は2023年第23週号にて掲載予定です。

北区



東京都



■トピックス 正しく知ろうHIVの基本のき

<そもそもHIVって何？>

ヒト免疫不全ウイルスというウイルスの名前です。その名の通りヒトのみを宿主(ウイルスが感染し体内で増殖することができる)として、免疫の中心であるヘルパーTリンパ球(CD4細胞)という白血球などに感染します。

<HIVに感染すると？>

HIVに感染すると、数週間以内に発熱、発疹、リンパ節腫脹などインフルエンザに似た症状が出る場合があります。HIV感染症だけにみられる特有の症状はありません。つまりこの症状だけではHIVに感染しているかどうか分からないため、検査して判断することになります。ただしHIV感染後3か月は検査では陰性となり、感染していることが検査ではわからない時期(ウインドウ期)があります。以降は自覚症状のない時期(無症候期)が数年続きます。10年以上経過すると免疫が低下し、本来なら自分の力で抑えることのできる病気(日和見感染症)などを発症するようになってしまいます。健康であれば免疫機能で感染を防げるような病気に感染してしまう状態を、AIDS(後天性免疫不全症候群)といいます。HIV感染=エイズ発症ではありません。もし、HIVに感染しても、早期発見と適切な治療で発症を予防し、ほぼ今までと同じ生活が送れます。

<どうやって感染予防するの？>

感染経路として性的接触、血液、母子があります。現状は性的接触(セックス)による感染が最も多く8~9割を占めています。性感染予防にはコンドームを使用し、性行為のはじめから終わりまで正しくつけておくことが必要になります。

<6月は東京都HIV検査・相談月間>

心配なことがあれば検査や相談をしましょう。

相談先: 東京都HIV/エイズ電話相談窓口 03-3227-3335 北区保健所 03-3919-3102

東京都北区では、東京都北区感染症発生動向事業実施要綱を定め、感染症法に基づく感染症の情報の収集、整理、分析及び情報の公開等を行っています。東京都及び厚生労働省による集計分については下記のインターネットのホームページでご覧になれます。

○東京都感染症情報センターのホームページアドレス <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/weekly/>

○厚生労働省/国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページアドレス <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2020.html>

発行 北区保健所結核感染症係